

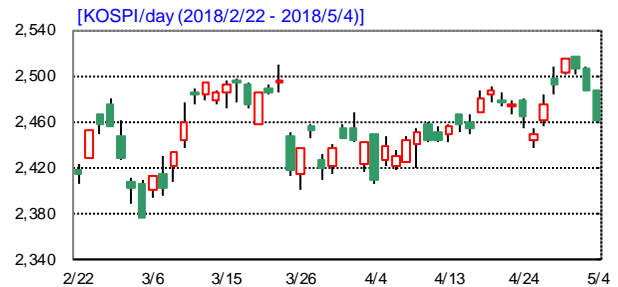


【韓国】 総合指数は週間で1.2%安と4週ぶり反落、イベント通過後で利益確定売り

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で1.2%安と4週ぶりに反落。5月1日がメーデーで休場のため4日間の取引だった。週明け4月30日は27日の南北首脳会談を好感し、大幅に上昇してスタート。朝鮮半島情勢の安定化や南北経済協力の推進などへの期待から鉄道株や建設株が買いを集めた。終値は今年2月2日以来、約3カ月ぶりに心理的節目の2500ポイントに乗せた。一方、休場明けの2-4日は3日続落。首脳会談という重要イベント通過後の一服感もあり、利益確定売りが優勢となった。半導体価格の先行き不透明感や米連邦準備理事会（FRB）による6月追加利上げ観測の高まりを受けた資金流出懸念も重しとなった。相場の調整を経て今週は買い戻しが入りやすい状況か。10日にマネーサプライと5月の韓国経済調査が発表される。

▼指数チャート

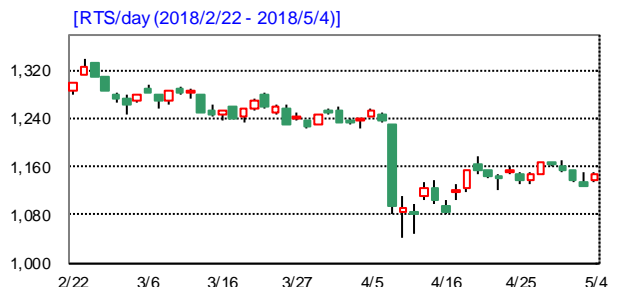


【ロシア】 RTS 指数は1.5%安と3週ぶり反落、今週はドル高で資金流出に警戒感

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は1.5%安と3週ぶりに反落。原油相場は堅調に推移したが、西側諸国との関係悪化やドル高が株価の重しとなった。4月30日-5月1日が休場となり、祝日の狭間に市場がオープンした2日は指数が前営業日比1.5%安と3日続落。原油相場は上昇したものの、西側諸国との関係悪化やドル高による資金流出懸念が意識された。市場参加者が少ない中、3日も0.7%安と続落したが、4日は1.6%高と反発し、週間の下げ幅を縮めた。ブレント原油が74ドル台後半まで上昇し、4年ぶりの高値となった前週の75.47ドルに迫ったことが好感された。RTS 指数は年初来では0.7%安となった。今週は、原油高が株価の支援となると期待される一方、ドル高による資金流出懸念が上値を抑える展開となりそうだ。

▼指数チャート

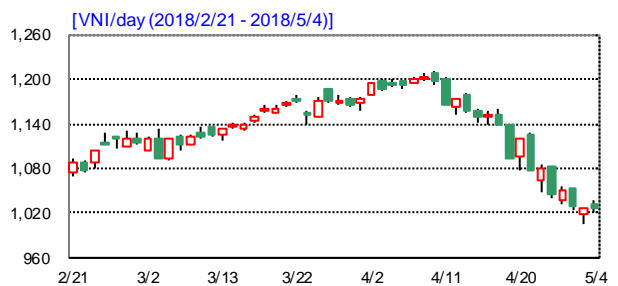


【ベトナム】 VN 指数は週間で2.2%安と4週続落、今週も資金流出懸念が重しか

先週の動き／今週の展望

VN 指数は2.2%安と4週続落。米中通商摩擦の激化懸念や、ドル高による資金流出懸念が重しとなった。先週は4月30日が統一記念日、5月1日がレイバー・デーで休場のため3日間の取引。連休明けの2日はVN 指数が2.0%安と大幅に続落。米中通商摩擦の激化懸念に加え、ドル高による新興国市場からの資金流出懸念が嫌気された。指数は前週までの3週間で12.5%下落したが、底打ち感はず、週後半も安値もみ合いが続いた。インドネシア株が終値で約9カ月ぶりの安値となったことも、投資家心理の悪化につながった。VN 指数は4月10日の場中につけた過去最高値からの下落率は15.2%に拡大した。今週は4週続落後の反発が期待されるものの、ドル高を背景とした資金流出懸念が引き続き重しとなりそうだ。

▼指数チャート

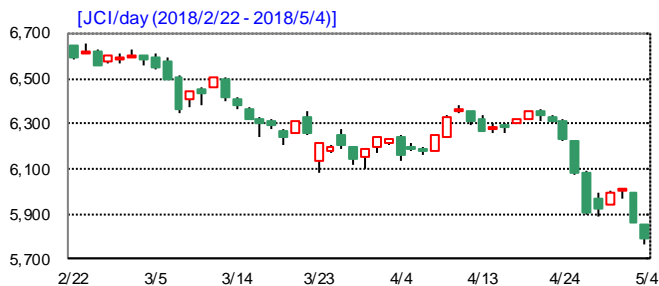


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.1%安、今週は 1-3 月期の GDP が焦点

ジャカルタ総合指数は 4 日間の取引で 2.1%安と続落。週後半に外国人投資家の売りが集中して指数を押し下げた。30 日は、金融株とエネルギー株が指数上昇をけん引し、終値で前営業日比 1.3%高と続伸。メーデーによる休場を挟んだ 2 日は、4 月の製造業 PMI が前月を上回ったことや同月の CPI 上昇率が中央銀行の目標レンジに収まったことが好感された。ただ、勢いは続かず、3 日に前日比 2.6%安と 4 営業日ぶりに反落すると、4 日はさらに 1.1%下落し、終値で約 9 カ月ぶりの安値を更新して引けた。今週は 7 日に発表される 1-3 月期の GDP に対する市場の反応が焦点。10 日はキリスト昇天祭のため休場。

▼指数チャート

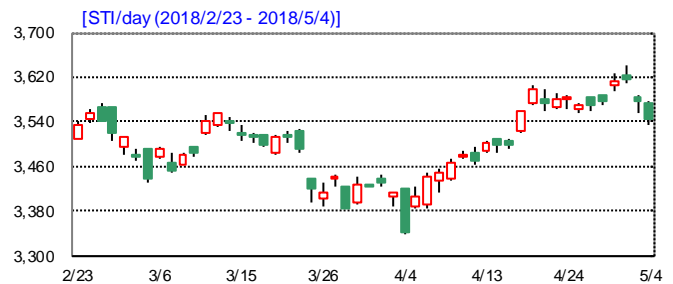


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.9%安、30 日に 07 年 11 月以来の高値更新

ストレーツタイムズ指数は 4 日間の取引で 0.9%安と 6 週ぶりに反落。週初に 07 年 11 月以来の高値を更新したものの、後半の下落が響いた。30 日は、4 月の銀行融資残高が過去最高額に到達したことを受けて金融株が買われ、指数は終値ベースで前営業日比 1.0%高と約 3 カ月ぶりに 3600 ポイントを回復。2 日まで 4 営業日続伸したが、3 日は買い材料に乏しく 1.1%安と反落した。前日の取引終了後に発表された 4 月の製造業 PMI は 52.9 と前月の 53.0 をわずかに下回っている。今週は 11 日に 3 月の小売売上高が発表される予定。外部要因では、8 日に発表される中国の 4 月の貿易統計が株式相場を左右しそうだ。

▼指数チャート

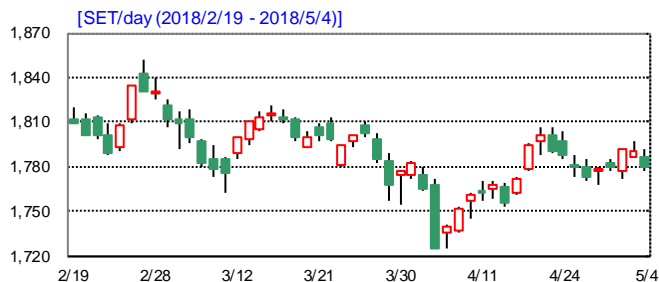


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.1%高、原油価格上昇でエネルギー株が好調

SET 指数は 4 日間の取引で 0.1%高と小幅に反発。週後半の下落が上昇幅を縮めた。30 日は前週末に韓国と北朝鮮の首脳会談が実現し、朝鮮半島の緊張が和らいだことが好感されて続伸。2 日は米国がイラン核合意を破棄し、経済制裁を再開する可能性への懸念から原油価格が上昇したことを受けてエネルギー株が買われた。ただ、3 日は北京で始まった貿易問題を巡る米中協議に対する様子見で小幅に反落すると、4 日は 4 月の米雇用統計の発表を目前にした買い控えて続落した。今週は国内の重要イベントが少ない中、前週末の NY ダウが失業率の改善などを受けて続伸したことが追い風になるかが焦点。

▼指数チャート

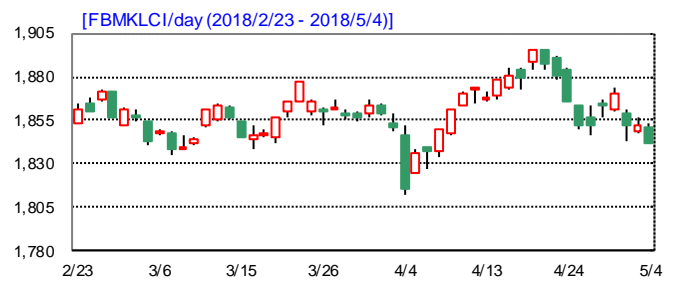


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.2%安、今週は下院議会総選挙の結果に注目

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 1.2%安と続落。先週は週初こそ上昇したものの、その後は軟調な値動きが続いた。30 日はゲンティンやサイム・ダービーなどの大型株が買われて、3 営業日続伸。ただ、休場を挟んだ 2 日に米国で開催中の FOMC に対する様子見で前日比 1.0%下落すると、その後は週末まで 3 日続落して引けた。4 日に発表された 3 月の貿易統計は輸入が前年同月比 9.6%減少したことで、貿易黒字額が市場予想を大幅に上回った。今週は 10 日に 3 月の鉱工業生産と小売売上高が発表されるほか、中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。9 日は下院議会総選挙の投票日で休場。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合もあります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。